

静中・静高 関東同窓会 会報

静中・静高関東同窓会
会報 第65号
平成20年6月6日発行
編集人 村松 貴彦
(77期)



会場は好評のため、昨年度開催の会場に決めさせていただきました。最寄り駅は地下鉄東西線「竹橋駅」、千代田線「大手町駅」、都営地下鉄「神保町駅」のどこからでも徒歩で行ける分かりやすい場所ですので、同窓生お誘い合わせのうえお気軽にご参加ください。

会場案内図



平成二十年度 関東同窓会総会・懇親会を開催します キリンググループの総帥、加藤氏が講演します

記

日時 七月四日(金) 午後6時より

場所 KKRホテル東京

東京都千代田区大手町一の四の一
(竹橋合同ビル・旧竹橋会館)
電話 03-3287-2932
十階「瑞宝の間」と「平安の間」

総会、講演終了後は懇親会を開催します。本年は86期の当番幹事の皆さんが準備をしてくれています。皆さん多忙中、同窓会の成功を目指して頑張っていたいでいます。懇親会の会費は今年も同窓会から補助金を支出して四〇〇〇円と致しました。当日は静岡から恒例のハンペン、ワサビなどの美味しい故郷の味が届きます。

懇親会費 4000円(但し学生は1000円)

年会費の三〇〇〇円は当日受付も致しますが、この会報に同封の振込み用紙によりご納入をお願い致します。

議題 一号議案 平成十九年度事業報告、

二号議案 平成二十年度事業報告、予算

講演 講演者 加藤壹康氏 80期

キリンホールディングス(株)代表取締役社長
テーマ 最近の経済事情について(仮)
プロフィール 別稿



加藤壹康(かとうかずやす)氏プロフィール

一九四四年(昭和19年)11月24日生まれ
一九六四年静岡卒業
(80期)後、慶応大学
商学部へ学ぶ。一九六
八年キリンビル(株)に
入社、福岡支社配属。一九八五年海外留学、M
ITにてMSを取得。キリンUSA副社長、社
長をへて一九九三年東京支社へ。その後北海道
支社長から二〇〇〇年に取締役。二〇〇四年常
務取締役兼常務執行役員兼酒類営業本部長。二
〇〇六年代表取締役社長、二〇〇七年七月キリ
ンホールディングス(株)代表取締役社長

同封のハガキに恐れ入りますが五十円切手を貼って、出席か欠席かを、また近況を記し、同窓生の消息をご存知の方は、該当欄に記入して六月二十日までに投函してください。

ファクシミリにての送信は、03・3257・0820(関東同窓会事務局)までお願い致します。

総会・懇親会は七月四日

平成19年度 収支決算報告書

静中・静高関東同窓会

自平成19年4月1日～至平成20年3月31日

(収入の部)

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
年 会 費	1,800,000	1,816,000	16,000	602名
総会・懇親会費	800,000	581,000	△ 219,000	146名
会報広告料	240,000	240,000	0	12社
本部助成金	800,000	800,000	0	
受取利息等	0	53,039	53,039	銀行利息、総会祝儀
静中・静高史	0	6,000	6,000	2部
計	3,640,000	3,496,039	△ 143,961	
前年度繰越金	5,070,857	5,070,857	0	
合 計	8,710,857	8,566,896	△ 143,961	

(支出の部)

総 会 費	1,150,000	1,178,807	28,807	
会場設営費等	250,000	372,187	122,187	
懇親会費	900,000	806,620	△ 93,380	152名(来賓6名)
会報発行費	1,350,000	1,248,319	△ 101,681	年2回 計6,600部
印刷費	500,000	419,800	△ 80,200	
送料	650,000	643,169	△ 6,831	
編集費	200,000	185,350	△ 14,650	
役員理事会費等	600,000	579,390	△ 20,610	
旅費交通費	200,000	71,620	△ 128,380	本部・中部支部総会出席
振込手数料	100,000	58,068	△ 41,932	銀行・郵便局
コンビニ振込費等	0	75,875	75,875	初期費、基本料、接続費
事務費・通信費等	250,000	275,897	25,897	
慶弔費・雑費	80,000	50,000	△ 30,000	本部・中部総会祝儀他
計	3,730,000	3,537,976	△ 192,024	
次期繰越金	4,980,857	5,028,920	48,063	
合 計	8,710,857	8,566,896	△ 143,961	

平成20年度 収支予算書(案)

静中・静高関東同窓会

自平成20年4月1日～至平成21年3月31日

(収入の部)

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	摘 要
年 会 費	2,100,000	1,800,000	300,000	700名
総会懇親会費	800,000	800,000	0	200名
会報広告料	240,000	240,000	0	12社
本部助成金	800,000	800,000	0	
受取利息等	0	0	0	
計	3,940,000	3,640,000	300,000	
前年度繰越金	5,028,920	5,070,857	△ 41,937	
合 計	8,968,920	8,710,857	258,063	

(支出の部)

総 会 費	1,150,000	1,150,000	0	200名
会場設営費等	250,000	250,000	0	
懇親会費	900,000	900,000	0	
会報発行費	1,350,000	1,350,000	0	年2回 計6,600部
印刷費	500,000	500,000	0	
送料	650,000	650,000	0	
編集費	200,000	200,000	0	
役員理事会費等	600,000	600,000	0	
旅費交通費	100,000	200,000	△ 100,000	本部・中部支部総会出席
振込手数料	50,000	100,000	△ 50,000	
コンビニ振込費等	240,000	0	240,000	月額基本料・接続料・手数料
事務費・通信費	370,000	250,000	120,000	
慶弔費・雑費	80,000	80,000	0	
計	3,940,000	3,730,000	210,000	
次期繰越金	5,028,920	4,980,857	48,063	
合 計	8,968,920	8,710,857	258,063	

静岡の万葉を歩く

(三十六)

51期 原崎 郁平



浜松市天竜区細江町大字藤本小森橋南詰土手南五十米のところ

次の万葉歌碑が立っている。

あられふり

遠江(とほつあふみ)の

吾跡川 楊(あどがわやなぎ)

刈れども またも

生(おふと)いふ

吾跡川 楊

人麻呂歌集 巻七・一二九三

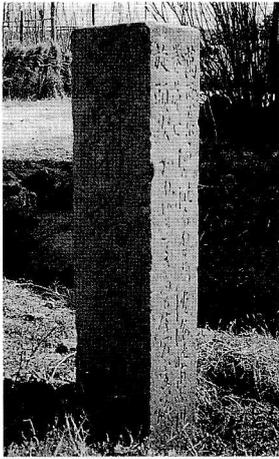
明治十六年 建立

建立者 松島十湖

揮毫者 不詳

歌碑は寸法高さ百十六センチ幅二十三センチ 奥行二十三センチの自然石。

歌の大意は「遠江の国にある



吾跡川楊、刈ってもまた生えるという吾跡川楊よ」

この歌碑は小さな石柱と言ってもよい程で大変探しにくい。

小森橋の南詰に立つと湖岸へ五十米程の土手の上に何やら小碑が見える。歌碑の正面には「吾跡川楊之古跡」と大書し、下方に「是ヨリ南壺町拾五間」と小書してある。その右側に何やら歌が刻してあるが彫りが正面に比して著しく浅いためか殆ど判別できない。

「あられふり」(霰降り)は遠江にかかる枕詞。歌碑の西側に遺跡伝承地の小池があり柳が植えられている。柳は冬になる前に刈られ、そして春の訪れとともに何時の間にか芽を出して、夏になると地に影を作って涼を運んでくれる。その揺れ具合は大変情緒があり、旅人の疲れを癒してくれる。浜名湖からそよぐ風はその情緒を誘ってくれる。細江町教育委員会の次の説明文を紹介する。

吾跡川楊(あどがわ柳) この歌は万葉集巻七に歌われている。遠江国吾跡川のほとりに生い立った楊が刈られても刈られても芽を出すということ、人が何か思うことを諦めよう諦めようと思っ

ても、また思い出しては物思いにふけるといった心持を歌ったものである。一種の恋歌ともいわれている。この楊は時の流れとともに大木となって、その後京都の三十三間堂の棟木にされたという伝説がある。交通機関はJR浜松駅より遠州鉄道バス、気賀三ヶ日線「よし本」下車、徒歩二分である。

朝倉勇氏の

新詩集『散骨の場所』

67期 小杉 弘



同期の朝倉勇君から年賀状をいただく。今年も「朝」と題した詩が

次のように書かれていました。

朝

ゆれています なにかが

ひかっています なにかが

二〇〇八番目の朝が

澄んだ目をして

それを感じます

この詩を読んで、新しい年を清々しく迎えました。今年はずいぶん、何かがあるかも起こるかも知れない。平凡な日々でいい。平和な一年であって欲しいと願っています。

朝倉君は、コピーライターで

あり著名な詩人としても活躍されています。秀れた感性と豊かな才能、深い洞察力で世の中の多くの事柄を、詩に託し見事に表現します。

その彼が、二月二十日に、十冊目の新しい詩集、朝倉勇『散骨の場所』を書肆山田(東京都豊島区南池袋二・八・五・301、電話03・3988・7467)から発行しました。

今回もすばらしい詩集です。歳を重ね、さらに磨き澄まされた表現と言葉が心に吸い込まれます。

全二十六編のこの詩集の中に一つに「根府川駅・四月」という作品があります。身近で親しみを感じ、心が嬉しく弾みましました。

神奈川県二宮町に住む愚生はJR東海道線を利用し、時々熱海伊豆方面に出掛けます。二宮駅から五つめ、小田原駅から二つ目の静かで温暖な小駅が根府川駅です。

いつも何気なく眺めていた根府川駅周辺が、朝倉君の眼力で見事な情景に変わり、凜として活きている。なるほどと感嘆、これからはこの駅を通る度ごとに想い出し決して忘れることはないでしょう。

詩集『散骨の場所』全編に彼の哲学を感じ、大人の詩として

深く考えさせられます。是非同窓の皆さんにご覧いただきたいと思えます。

朝倉勇君の著書

詩集

『掟』(一九六〇年・書肆ユリイカ)

『十月の幕』(一九七一年・歷程社)

『鬼の蟲』(一九七五年・落合書店)

『神田川を地下鉄丸の内線電車が渡る時』(一九八〇年・歷程社)

『麻布仙台坂の日曜日』(一九八六年・思潮社)

『鳥の歌』(一九九四年・思潮社・第四回丸山豊記念現代詩賞受賞)

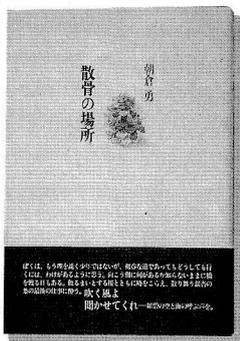
『田園スケッチ』(一九九八年・メディアファクトリー)

『みてみたい、みてみたい』(二〇〇五年・思潮社)

『女のひとと鳥』(詩画集/画協田和/二〇〇五年・脇田美術館)

童話『物語』

『ポールと小鳥』(絵//安野光雅/二〇〇六年・童話屋)



半導体開発に携わった半世紀

67期 向井 久和

社会人になって半世紀近くを、N T Tの研究所および半導体メーカー等で集積回路の研究開発に携わってきた。

その始点はちょうど集積回路の黎明期であり、数年前に現役を離れたが、今や集積回路の進化の源である微細化技術が限界に達しつつある。この間の進歩は半導体チップの中に作り込まれるトランジスタなどの素子数で数十億倍である。

振り返ってみれば、当初はトランジスタラジオが持てはやされていたが、集積回路によって大型コンピュータが実現し、集積回路が大規模化したLSI（ラージ・スケール・インテグレーション）の進展はパソコンを生み出し、発展普及させた。それはインターネット時代の布石ともなっている。さらにLSIは今日の携帯電話、デジタル情報家電全盛の時代の基盤ともなっている。

筆者もデジタルTVで世界の出来事をリアルタイムに観たり、デジタルカメラで撮影した写真をパソコンで編集してメールで送ったり、名詞サイズの音楽プ

レーヤーにたくさんの歌を録音して電車の中で聴いたり、LSI進化の恩恵を享受している。

LSI産業の変遷・果たした役割

昔から集積回路は産業の米と言われてきたが、大量に生産したい量に消費されることで企業として成り立ち、発展する特徴を持ち、前述のようにこれを使用する機器の産業界の進化、変革に密にかかわってきたといえる。

半世紀の間にグローバルな半導体産業地図も産業構造の変化（企業提携や分業）を伴って大きく変遷してきた。

米国で生まれ成長した技術として産業が、日本に移り一九八〇年代に入って韓国、台湾の半導体産業が台頭し、米国も復活、欧州もそれなりに進展する中、日本が一人負けの様相を呈している。そしていま中国とインドが次の産業拠点として注目を集めつつある。

筆者もこの時代、半導体メーカーに勤めており、急速な市場環境の変化と激しい企業間競争の中での事業変革の苦勞を目的の当りにした。

集積回路の進歩は、微細加工技術の追求が基になり、トランジスタの微細化によるシリコンチップ内への高集積化トランジスタの動作エネルギーの低速化

の追及で達成されてきた。今や微細加工が数十ナノメートル（数万分の一ミリメートル）に達し、加工技術の困難度も高まってきた。従来型のM O S（メタル・オキシド・セミコンダクタ）トランジスタも動作限界に近づき、半世紀ひたすら微細化により進歩を続けたLSI技術展開も転換期に來たといえる。

次世代への期待

ここにきて半導体技術開発は二つの方向が活発化している。一つはアプリケーションを意識した技術融合などによる付加価値の向上である。機能の異なる複数チップの集積化やM E M S（マイクロ・メカトロニクス）とLSIの結合などであり、産業界の現実的な動きとなりつつある。

もう一つの方向は、現在の微細化の壁を乗り越えた革新技術による新しい技術分野の創出である。いわゆるナノテクノロジーの世界の追求である。

シリコンのような半導体結晶も数十ナノメートルの微細加工した部分では電子がシリコン結晶の中とは全く異なる振る舞いをする、いわゆる量子効果という現象が出現する。

この現象を活用する新しいデバイスによる超低エネルギーデバイスの研究は種々行われてい

るが、まだ決定打は出ていない。一方でテクノロジーという未知の領域に対して、生産現場や使用上での人体の健康・安全を確保するとともに、この技術の地球環境問題解決への適用という積極的意味を含めてグリーン・ナノテクノロジーという新しい言葉が生まれ、学会での議論が始まっている。

半導体産業が成熟した今、次の半世紀に向かって新しい技術／産業が創出され、人類の眞の発展が実現することが望まれ、わが国がその中で指導的役割を果たすことを期待したい。

静高卒業記念に

何をしましたか

73期 山梨 由記

73期の同期生は昭和32年の春に卒業して早や51年経ちました。まだこんなに若いのに、今年は古希を迎えることとなりました。七十年のあれこれが思い出されます。静高に合格したこと。ギリシャ神話の廃墟のような柱と壁だけの青空天井の講堂の砂利の上に畳を毎日敷いてからの柔道の練習。興津の夏の水泳訓練での遠泳。今は無い飛び込み台からのプールへの飛び込みは福山富雄先生、31HRは池本重男

先生、以下順に影山竹夫先生、佐藤巖先生、渡辺三郎先生、湯沢肇先生、杉山一与先生、吉川晴夫先生、平岩先生の八クラス。規律に厳しい馬渡猛先生、美術で木工の作品で褒められた大村政夫先生、体育の深沢潔先生。同期三百八十名弱の内、才媛美女十二名。叩高祭、苦しかったこと、楽しかったことが思い出されます。

高校を卒業する時の友との別れに何をしましたか。私たちが行ったのは卒業の記念に友との別れに交換するために写真館に行って撮って貰った自分自身のプロマイド写真。当時、各家庭には写真機が無く、叔父から借りたカメラを修学旅行に持っていった時代だった。縦7.5×横5.5センチの白黒写真で、最初の十枚を交換して足りなくなり、焼き増しをまた写真館に頼みに行くと同期生と交換した写真が手元にある。見ていて笑みがこぼれる同期生のプロマイドである。皆さんの卒業記念には何をしましたか。



卒業当時の小生

67期の友楽会は 仲良しで才人集団

67期 大石 脩而

このごろ喜寿を前にして、桜を見る心境が変わってきた。はらはらと散っていく花の美しさに、わが人生もかくありたいものだ、などと考えたりする。

67期第32回「友楽会」が開かれたのは、そんな桜が散り始めた花冷えの四月八日。会場は渋谷駅前「初つぼみ」という田舎風日本料理の洒落た店。当番

幹事の朝比奈正三君が設営してくれた。

友楽会は、東京近辺在住の同期生が年二、三回集まって、酒を呑みながら懇談する会である。

長続きしているのは、会則があり、任期制の会長や当番幹事がいて、大変面倒見がいいからだ。

会員は約二十人だが、数人が糖尿病などの生活習慣病で、顔を見せなくなっている。そんなこともあり今回から飯田惇、中村次雄、向井久和君が参加し、久しぶりに総勢二十人の盛大な会となった。

会はいつも会長の挨拶から始まる。これがなかなか興味深い。小杉会長の話のポイント

は三つ。
▽前回のあと鳥居滋夫君が亡くなられ物故者が八十二人になった。現役当時、静岡中学に入学したのは50人クラスが5組の250人だったから、約三分の一が死去したことになる。

▽同期生の朝倉勇君の十冊目の詩集『散骨の場所』が出版された。(3ページに詳報)

▽これも同じ山川静夫君が、NHK・BS番組で、童謡歌手の由紀

さおりと共同司会の『昭和の歌人たち』という番組を始めた。これが大変面白いという。

この後好き勝手な懇談に移ったが、67期の特徴は大変仲がいいことである。静中・静高同窓会の中で、今流に言えば「中高六年一貫教育」を受けたのは、

われわれとその前後期だけ。戦後のどさくさもあって、仲のいいのは、着る物や食う物にも苦労したせいだろう。いまだに「チャン」づけで呼び合う仲間も多い。

今回顔を見せた向井君は、今をときめくIT業界の国際的な半導体の権威だという。67期は、ただ仲がいいだけでなく、才人も多いということだろう。

花冷えも忘れ高齡クラス会とでもいった友楽会であった。なお参加者は、新参加の三人のほか朝比奈正三、遠藤一彦、大石脩而、岡村英二郎、川上剛二、河口正義、黒石聖一、児島英男、小杉謙一、小杉弘、鈴木敏行、手塚重明、長倉孝三、増田安国、山岡進、吉野亨。

七十歳半ばで

ピアノのお稽古

第4HR有志の会

68期 栗田 瑞夫

静高卒業後五十五年、卒業時

のクラスメイト同級有志が、昨年初冬の十二月三日、御殿場リゾートホテル「時の栖」に集い、久しぶりの再会を喜び合った。

当時のHRは通年全学年を含んでおり、したがって我等同期はクラス定員の約三分の一の十三名。先年急逝した萩原多賀男君を除くとちょうど残りメンバーの半数が出席したことになる。

話はまず体調のすぐれず御出席いただけなかった担任の川嶋喜久男先生の様子、前出の萩原君の思い出話に始まり、お互いの近況、旧友の消息アレコレの話題に花が咲いた。

この年代の集いにありがちな三大トピックス、即ち病氣、年金、そして孫自慢、これらについては恰も申し合わせたごとく話題に上がらず、専ら時事雑感、最近読んだ印象に残る書物、学生時代のエピソード、軽い立場で勤めている仕事、趣味の囲碁や音楽、そしてまだ幾分残っている未来への思いを馳せ談論風発、三時間は文字通り瞬く間に過ぎ去った思い。

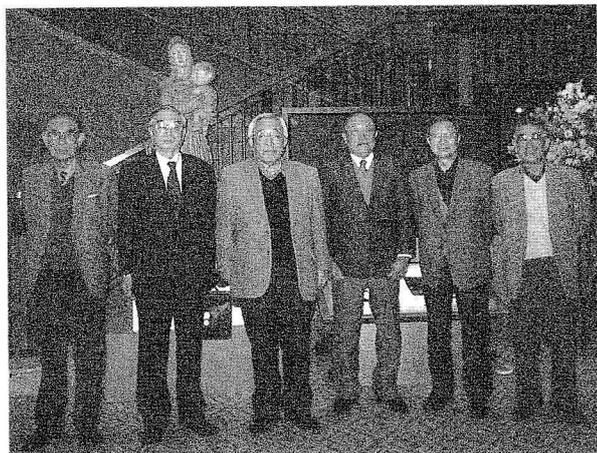
圧巻は歳七十半ばにして、何を思ったかピアノのお稽古を始めたという某君(特に名を秘す)のレッスンぶりの披露話。

音符も読めず、音痴に近い音感、まして生まれて初めて触ったというピアノ…と告発しても、その先生は敢然と引き受けてくれ、上手にあやしつづ練習に励み、一年後には見事発表会に出演したというくだりに及んで、一同感心半分冷やかし半分の大爆笑。キッカケは矢張りお孫さんとの対話に通じると聞き及び、

ディディたるものなかなか楽でない。次回は皆の前で弾いてくれと所望。一同その心意気に感服。

富士の落日残照を味わいつつ帰路についた。

写真右から桜井幹城、伊東良平、丸山洋、瀬堂川徹、栗田瑞夫、鈴木璋一



拜啓 御先祖様

71期 浦田 彰

「拜啓 御先祖様 率直ながら言上仕ります」

承りますれば我等駿河国所縁の者共 遠く血筋を辿れば御当地信濃国と深き縁がある由 一同この度御当地に参上仕り 永き無沙汰のお詫言上祖霊の恩寵をもって我等が末裔の行末に御加護あらん事伏して御願ひ申上げ奉ります

平成丁亥年極月吉日 謹言頓首

昨年のNHKの大河ドラマは「風林火山」。主人公山本勘助が縦横に活躍する舞台は甲斐、信



2007.12.09

濃・駿河でした。言うまでもなくこの三国は歴史的にも地政学的にも一衣帯水。ドラマの中でも我が駿河に馴染みの登場人物や地名が並びます。庵原忠胤、大井夫人、清水吉政、望月一族、海野一族、長倉の牧、伴野の庄、などなど。

そこで、首都圏に住まう同期の六人、伊藤勝、海野幸雄、後藤(旧姓・伴野)弘枝、長倉眞一、浦田彰の面々。信州軽井沢の近くに御先祖様がお集まりと聞き、「ご先祖様に会いに行かざあ一行かざあ」と衆議一決。そして、十二月九日、まず新幹線軽井沢から西北西へ4キロ、浅間山麓に鎮座まします長倉神社。この地は古来皇室御用の「長倉の牧」と平安

一族の運命はまさに波乱万丈、鎌倉時代の内紛に巻き込まれて一族離散したかと思えば、京都の朝廷に取り入って失地回復、かと思えば足利義詮(尊氏弟)と組んで敗れたのに、いつの間にか足利義政の代官になり本領安堵。

戦国に入って武田信玄と争い敗れ武田の膝下に、最後は武田一族とともに滅亡。その一族の盛衰を偲ぶ館跡が佐久市の一面に小奇麗な公園となっています。家康が武田家の遺臣を積極的に召し抱えたという話は有名ですが、伴野氏も家康にヘッドハンティングされて駿府城の御典医に、その伴野家末裔の一人が伴野(後藤)弘枝さん。

の昔から名馬の産地として古暦の地。神寂びた林の中のお社は延喜式神明帳に記載のある由緒ある神社です。まず拜殿に頭を垂れたのは長倉眞一君、秋の叙勲で多年の警察行政への貢献を嘉納されて受勲した瑞宝中授章の報告でした。御先祖様はさぞ喜ばれたことでしょう。さて、次なる御先祖様は佐久平の伴野館。鎌倉時代から戦国にかけて佐久平に勢威を張った伴野

世が世ならば伴野家の御姫様(今でも御姫様!ですが;)。御先祖様に何を語りかけたのでしょうか。折りしも落ち葉焼きの煙が茅葺屋根にたなびいて、あたかも伴野館落城の一景でした。館跡を後に小諸から国道18号線を西へ10キロ、旧北国街道・海野宿。入口に鎮座する海野一族の氏神様・白鳥神社がお出迎えます。

野一族は戦国の梟雄・真田家の主筋とされた武勇名譽の名族でしたが、天文10年、武田・諏訪の連合軍に敗れ滅亡します。残したのが海野宿。後の世で大いに栄えたというわけです。まず海野君を先頭に本陣家を表敬訪問した六人ですが。本陣夫人曰く「今、海野宿には海野を名乗る家は一軒もありません。海野様、どうぞお戻りください」と。遅めの昼食に入った蕎麦屋でも、海野と名乗れば下へもおかぬサービス。氏神様がお出迎え下さったのもむべなるかな!。父祖の地でもてもてた海野君、さればとばかり氏神様へのお賽銭を弾んだことでしょう。

初冬の信濃路は暮れるのも早い、それに寒い。我等が御先祖詣では、これまで。と残照に映える浅間山を背に一路宿と定めた別所温泉へ...。湯上りに信濃譽を傾けながら、本日の私の日本史探訪を自画自賛。後の三人の御先祖は? どこかに伊藤神社や梅原城や浦田砦があるに違いない。後日、探訪すべし!。と約して帰京したわけです。古希過ぎて、そろそろ御先祖様との距離の近さを感じた71期の生の旅でした。

応援指導部創設 早や五十二年

73期 山梨 由記

高校三年生になり、柔道部主将を命じられていた。そんなときの昼休み、柔道場の近くにいた時、北川巻平教頭先生からすぐ校長室にくるようにと呼び出された。何か部員が不祥事でも起こしたかと不安な気持ちで校長室に行くと、福山富雄校長が、にこやかな顔をして言い出された事があった。

「野球が強いので去年に続き、また甲子園に行きたいと願っている。については県大会から応援したく、七、八名集め応援団を結成してほしい」

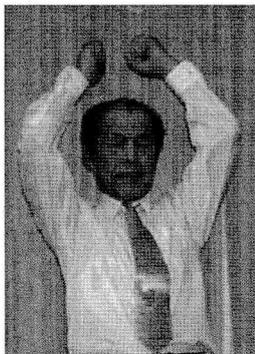
確かに昨年は静岡県大会に優勝して甲子園に出場していた。種茂主将(捕手)率いるわが静高チームは山静大会で沼津東高を7対3で下して優勝。甲子園の初戦相手は高知県の城東高。結果はわずかに1安打の3対0の完敗。柔道のことなら分かるが、応援の指導はどうするものか分からないと言ったら、慶応大学の応援指導部団長を勤めた塚本太郎さん(同氏は静岡の卒業ではない)を招いて指導してもらおうから静岡らしい応援団を結成し

て欲しいとのこと。早速、柔道部の田村清隆、飯塚剛に呼びかけ、ラクビー部の友田力、矢部正、伊藤裕之、運動部系ではないが川村大地の七名で行うと報告した。

昼休み時間に全校生徒が校歌、応援歌の練習をした経験があるのでしよう。それは自分達の応援指導の練習でもあったのだ。幸いにも八月二日、山静大会は静岡草薙球場。決勝での相手は甲府一高校、そこを7対0で完封勝利、甲子園に連続出場。しかし、ここでも1回戦、長野伊那北高校に4対1で敗退。8回途中から照明が点灯、甲子園史に残る初ナイターとなった。

静高は野球が強いから毎年応援団が存在し、県大会で応援したきたが、引き続き継承されていないのは残念で、後輩が継承して貰えば良いとの考えは学校側にもあったので、柔道部の一年後輩の前島秀章ら四人に頼むことになった。

彼は柔道の練習が終了後に浅間山に登って無人の山頂で大



声を張り上げて発声練習をしてきたものだ。こうして後輩が引き受けてくれて、応援指導部としての部活となり、顧問の先生も就いてくださるようになった。県大会の始まる七月には顧問の先生、現役、そして卒業生との合同の会を開催している。

去年の四月には、初代の応援団長を務めた友田力が天国に行き、それ以前には飯塚剛が福岡の地から他界したとの知らせがあった。伊藤裕之は若い年齢で病死していた。今頃は天高い処で宇宙に響き渡れと大声を発していることだろう。初代の応援指導部員三名のご冥福を祈る。

応援指導部、吹奏楽部創部四十周年記念大会が、平成十年九月に静岡呉服町のアゴラ八階で開催された時には小生も参加した。会はおごそかに挙行されその感激に浸り、その時のビデオテープの購入予約を済ませて静岡駅で友田力と会食をして別れたのが最後となったが、彼もそのビデオを後日送ってきてくれた。今その映像を懐かしく見ている処だ。

後輩の部員が応援指導部の伝統を引き継いでくれることに感謝する。部員が僅か一人で、甲子園出場した時はボランティアがアルプススタンドで指導してくれたこともあった。

私達が初期に採り入れていた応援スタイルも時代とともに変わりつつある。テレビ時代に合わせた間の取り方だという。でも変わらないのは静高生らしい清潔なスマートな応援指導である。この伝統を守りいつまでも引き継いで欲しいと願っている。

◆◆◆◆◆
まだまだ現役、77期の世界通、松永君アルゼンチンへ

77期 三浦 位通

定年退職後、伊豆市に住みついている同期の松永秀夫君から連絡があり静岡に久しぶりに行くので、一杯やろうということになった。昨年十二月のある日のことだった。さっそく、いつもの仲間と乾杯しようとしたとき突然松永君がお知らせがあると立ちあがった。「俺、来年三月からアルゼンチンへ行く。皆としばしの別れだ」。

「えー、何しにいくのだ」とみんなびくくりしながら乾杯。ところで、アルゼンチンでどこだ？などと場がざわつきだしたところで、松永君がしゃべりだした。「実は、JICAのシニア海外ボランティアで行ってくるんだ」と。

今度は、シニア海外ボランティアってなんだ？松永君がその疑問を説明してくれる。曰く、開

発途上国の人々のために、自分の持っている技術や経験を活かし国際協力をするのだと。四十〜六十九歳までの健康な人なら誰でも応募できるそうだ。また、アルゼンチンは、日本からは地球のほぼ真裏となり、ジェット機で約三十時間余かかるといふ。首都は、ブエノスアイレス。

しばらく、皆驚いて言葉もなかったが、やがてすごいな、われわれの歳になっても国際協力に挑戦していくことはと、称賛の声があがりだした。

誰かが叫んだ、出発前に壮行会をやる。その夜は、アルゼンチンで盛り上がりつつお開きとなった。

その後、松永君は、長野県駒ヶ根でのスペイン語を中心とした厳しい研修を終えて、出発日が三月二十六日と決定した。駒ヶ根研修期間に激励に行った同期の菊地君が、酒もだめで朝から夜(宿題毎日)まで、地獄の2ヶ月特訓だと連絡がはいった。研修が終わわり、静岡県知事、伊豆市長挨拶、などの忙しい中、約束の壮行会を三月二十日静岡で行った。

松永君は、昨年十二月の時と比べ、全体に痩せてしまっていた。相当きつい研修だったことがわかり、彼の意思の強さに



びくくりした。

壮行会には、菊地君、山口君、宮崎君、水野君、村松君、花村君、清水君、そして写真後列中央に立つ私の9人が、集まり一言ずつ激励の言葉をかけ、二年後の再会を誓った。

定年後の松永君のこの生き方に私だけでなく、友みな感動した。いまや、「老人よ、大志を抱け」の時代、このように明るく、未来に向かっていつまでも挑戦して生きて行けたら最高の人生だ。(前列右から二人目が松永君)

関西支部だより

関西支部総会の案内

関西支部では、総会・懇親会を七月五日(土) 十四時からノボテル甲子園ホテルで開催する。「永年支部会費を納めていただいた会員には、母校野球部のロゴ入りTシャツを作り配布しました。甲子園出場の際にはこのシャツを着てアルプススタンドで応援するのを楽しみにしたいですね」と柴田尚会長(81期)是非総会に同窓生誘い合わせて参加くださいとのこと。



Tシャツに使用したロゴはまだ版があり、増刷りすることはできない。最低十枚とか二十枚など、まとめてほしいという。総会、シャツなどの問い合わせは会長携帯 090・9993・0594

E-mail

ckaa1227@sutv.zaq.ne.jp

ノボテル甲子園 Ⅱ

0798・48・1111

▽関東同窓会総会は 七月四日(金)

▼同窓会会費抛出に 御協力ください

同期会告知

関東七夕会(77期)は 七月五日、新宿で開催

日時 七月五日、午後4時から
場所 パブ「アフター6」ペガサス館三階、新宿駅中央東口、中央通り5分
TEL 03・3356・6688

静岡では、静岡県議会の議長に同期の天野一氏が就任したとの報告が聞こえてきたが、一方今年三月、七夕会皆勤でした大村信子さんが亡くなり、寂しい想いです。

皆さまからご送金いただき、生花を献じ香料をお送りしました。配偶者の存在価値がますます増えていくようです。女性は介護に逐われるようです。

それはそれとして、一年に一度の七夕会です。お互い誘い合わせ参加し楽しくやりましょう。

(77期 松井義之)

静岡・静岡情報

ご存知ですか。

静岡の由来

静岡市役所の片隅に、静岡の由来を刻んだ石碑が立っている。それによると以下の通り。

明治二年(一八六九) 廃藩置県を前にして駿府または府中といわれていた地名の改称が藩庁協議された。

重臣の間では賤機山にちなみ賤ヶ丘といったんは決まったが、藩学校頭取の向山黄村先生は時世を思い、土地柄を考えて静ヶ丘即ち「静岡」がよいと提案され衆議一決、同年六月二十日「駿府府中静岡」と唱え替えせしめられ候」と町触れが達せられた。

以来百有余年富士を仰ぐふるさと静岡の名は内外に親しまれ県都として今日の発展をみるに至った。

ここに市制施行九十周年を向かえ、黄村先生の遺徳を敬仰し、ゆかりの地藩庁跡に市名の由来をしるす。

昭和五十四年四月一日

静岡市

もと静岡教諭蔭山先生の著書
突然、息子が
逝ってしまった

四十九日

好評発刊中

静岡で国語の先生、野球部長、また同窓会の仕事を長年にわたって勤めていただいた蔭山昌弘先生(81期)。愛息博行君がハンゲグライダー事故で亡くなった。

葬儀のときのこと、静岡時代のラクビー仲間が博行君を囲んでスクラムを組み、

「静高いくぜー!」

「オー」

「静高いくぜー!」

「オー」と、

雄叫びを上げて泣き崩れた。と苦しい心情を四十九日の法要を終えるまでの悲しみ、絶望感を記録した。涙なくして読めない書。

株式会社冬幻社、
文庫として平成二十年二月初版、
本体571円+税



石(墓、石碑)のことなら (株)イシフク

- 望月 威男 (77期)
- 熊野雄二郎 (84期)
- 望月 茂樹 (101期)
- 望月 秀康 (107期)

〒421-1224 静岡市葵区飯間 71
TEL 054-278-6610

関東の人に紹介したい良い環境

八王子 東京霊園

〒193-0826 東京都八王子市元八王子町
TEL 0426-61-6734

○お墓、石碑、建材、石のことなら気軽に相談ください。

平成十九年度 静中・静高関東同窓会会費拠出者一覽表

「協力ありがとうございました。」

- 48 青木香、近藤希賢
- 49 嶋三四郎、杉本久敏
- 50 江川友治、丸尾文治
- 51 永井五一郎、林盛次、原崎郁平、渡辺功
- 52 小川善次郎、西田豊馬、服部雅雄、茂呂茂樹
- 53 木宮高彦、倉田清治、桜井昌也、志田寿一、徳永悠久、橋本久仁寿、望月昂
- 54 大畑忠夫
- 55 小沢忠樹、長澤栄一
- 56 奥野進、清水逸郎、鈴木源一
- 57 天野喜久雄、岩井平一郎、大島隆夫、坂田秀雄
- 58 海野進、須山静夫、服部健一
- 59 青山勇、朝比奈正一、内田武二、大塚恒、大村和夫、加納久夫、狩野和男、川田昭、小花敏郎、近藤陽三、嶋谷正夫、清水汪、菅原操、高橋裕、田澤義彦、長谷川邦三、原淳、福地彊、増田勝郎、増田真一
- 60 石関忠雄、井田淳、上杉重吉、笠間達男、黒田武之助、小林金次、酒井美高、鈴木光男、谷龍治、堤崇、時田正康、内藤敏夫、原善三郎、原田龍一、益田清間、山崎鏡次、山本正三、山本雅之助
- 61 稲森慎二、大石次男、君島敏男、黒川泰三、酒井茂、清水照彦、清水澄夫、相馬孝、高村岳史、高山秀男、土井正圀、西田駿之介、諸田実、八木貞二、藪崎昭、山崎和夫
- 62 川手生己也、浜田隆郎
- 63 伊東守、入江喜久夫、大石一輔、三枝弘之、山梨長二郎、横井一、吉川隆士
- 64 65 新井彰、岩本吉雄、遠藤栄、栗田行雄、佐野旭、田中耿、塚本光彦、長島健、永田進一、仲野實、野澤正憲、長谷川直和、蛭川博之、益頭尚文、増田政雄、松下一男、山本和彦
- 66 内田幸雄、馬越峻、大塚修弘、大坪信之、大村敏夫、加藤博司、河守輝雄、菊田聰裕、久保泰夫、小嶋清司、小林五郎、小林成敏、瀬尾章、曾根錦吾、原野谷朋司、藤原朝則、藤原隆二、牧田祐治、増井和夫、馬淵逸明、武藤勇、村松武司、村越立彦、森山秀夫、安池智策、山下裕一、山梨裕司
- 67 朝倉勇、朝比奈正三、遠藤一彦、大石脩而、大森恵吉、岡村英二郎、小沢皎二、河口正義、黒田秀幸、児島英男、小杉謙一、小杉弘、杉田勝男、鈴木敏行、手塚重明、戸塚惣雄、福原亨一、増田安国、松岡健、丸山英久、向井久和、矢部隆、山川静夫
- 68 秋山和也、雨宮明生、荒谷じつ子、稲葉清、宇田貞子、江崎善三郎、大石康博、河口浩、栗田瑞夫、酒井定子、佐野川好母、鈴木昭夫、鈴木俊彦、瀬口寿一郎、瀬堂川徹、高橋俊晃、立花雍一、築地六郎、星野敏郎、増井良敏、望月芳明、吉崎英輔
- 69 植村守代、福地彊、望月道生、谷川治弘、有田久、石山博、市川三世史、片山智司、北村孝、清智、小嶋国彦、清水令一郎、関哲男、田中元、富田三樹、中村龍二、仁科正雄、松永茂、宮代省一、村松勝治
- 70 71 青木庄二郎、石川宏、今村清彦、海野幸雄、梅原孝允、浦田彰、奥村鋭一郎、片山嘉博、加藤祐史、小池啓治、後藤弘枝、佐藤利治、実石欣哉、諏訪逸郎、谷口滋、富野寿、西野章、橋爪尚也、宮崎次郎、矢部正和、山田卓夫、渡辺敏美
- 72 今泉烈、桜井亮介、佐藤允弥、清水雅彦、種茂雅之、内藤博次、夏目雅之、仁藤宏次、深田均、松木茂夫、村手正之、山口公子、有光一郎、飯塚迪子、石川八洲男、石川久男、石割浩司、大石堯史、大村博、岡本修、後藤孝子、後藤宏、近藤守、斉藤幸男、三枝通康、榎原由之、塩津浩、杉山正三、杉山征司、杉山光、鈴木斉、鈴木豊、鈴木良明、大村春樹、田中重穂、仲川信正、中西宏幸、西沢秀雄、西本昇平、羽山武、松下勝朗、松永烈、三浦英夫、望月公美、望月智、山崎智弘、山下省三、山中博司、山梨由記、鷲巢丞男、渡辺雅俊

74 井鍋 正良、大嶽 隆司、角谷 治子、菊池 芳彦、

桑原 伊玖子、桑原 英明、佐藤 鐘司、佐野 捷造、

田中 佐知子、中村 牧子、花本 栄二、藤原 經史、

松下 晴一

75 井出 辰一郎、今田 肇、大島 崇志、小林 銑一、

佐藤 修二、村松 友視、柳沢 弥太郎、山本 勇夫

76 大石 直行、北村 修、国保 能彦、斉藤 俊英、

山岸 誠二

77 飯田 善久、石間 啓一、石山 建一、岩崎 敏宏、

大岩 蓮、大隈 多一郎、小宮山 和也、柴田 哲男、

清水 雅尚、杉山 武、滝野 公一郎、武田 恒章、

坪井 孝夫、仁科 光司、野方 重人、藤田 武敏、

三浦 昭彦、三浦 位通、村松 貴彦、森 正毅、

柳川 信子、山内 幸太郎

78 天草 静子、石川 暢子、石田 久徳、石山 喬、

今村 史子、奥山 和子、垣生 尚敬、縣 保祐、

鎌田 勇、川崎 敏弘、河辺 正宏、小林 勝弘、

白木 桃子、田中 奉、次田 肇、友安 昭、

水野 泰安

79 上田 尚亮、可知 正高、出島 忠彦、野崎 嘉吉、

野村 公美、山本 勝

80 入谷 健彦、上出 和子、大石 孝裕、角谷 勝彦、

鎌田 曙美、小林 哲郎、柴田 裕、柴山 勲、

鈴木 勝、竹内 勤、玉井 直子、間瀬 仁、

81 深沢 直之、増田 安久、望月 康弘、吉田 和悦

梅沢 浩二、英 嘉明、大沼 信之、鈴木 真男、

丹羽 正雄、本多 英一、松永 旭、宮崎 太加志、

森下 鉄夫

82 秋山 好、石川 倫男、石津 保彦、石部 憲治、

大村 多聞、大石 正幸、小笠原 正樹、金子 恵子、

狩野 行雄、河野 健策、計良 光一郎、計良 知子、

桜田 照男、篠原 温、多賀谷 秀保、滝田 正良、

田畑 秀典、八牧 浩行、細川 晃、堀内 淳司、

83 鈴木 潤、鈴木 秀孝、鈴木 程久、中村 豊、

西野 直樹、服部 博、久野 淑子、久野 泰司、

増井 敬、的場 滋、山本 章夫、山本 雅敏、

渡水 実根子

84 宇佐美 裕民、大隈 恵子、塩谷 立、杉山 篤史、

杉山 順一、高瀬 莊一、野口 洋一、吹井 承三、

藤森 潤子、水越 伸昭、三宅 幸夫、山田 孝夫、

吉野 文江

85 池田 幸司、石垣 政博、石黒 和紀、市原 敏晴、

遠藤 ともこ、岡安 みどり、勝保 健一郎、

川出 尊江、栗田 博通、小堀 政雄、佐野 幾子、

佐野 文比古、志村 顕、杉山 由紀子、

竹内 二士夫、竹内 裕子、竹田 徹、林 晴子、

86 深津 俊郎、北条 正裕、牧野 英敏、増井 喜一郎、

三上 嗣夫、望月 敬生、望月 光、安本 敬、

山下 剛一、山田 晴道、山田 豊

87 青山 隆一、井鍋 香澄、加賀屋 正之、近藤 孝邦、

橋田 直美、長島 正、成岡 和美、野口 洋亮、

野口 ひろみ、八牧 暢行

88 安倍 敏陽、石川 嘉和、石渡 洋行、遠藤 久資、

春日 武彦、川口 代志子、高橋 宏、針谷 千鶴子、

89 平岩 正史、フルー 文子、山口 恵久、薬科 名雄

栗田 和明、鈴木 攻、田中 育恵、谷口 ひとみ、

三浦 昭彦

90 池田 磨佐人、片山 尚生、北村 佳久、

91 北村 美佐子、鳥巢 修、西谷 昭、山崎 真紀子

92 荒井 千明、小川 修史、栗山 伸一、山梨 孝子

93 岡野 素之、北川 登土彦

94 大羽 章弘、高柳 広之

95 亀山 晴信、松野 敦子

96 岡部 正明、尾下 康宏、鈴木 久子、

97 永江 総宜、堂本 修子

98 杉本 耕一

99 小坂 倫久

100 小柳 津良行、小山 悦伸

101 伊藤 毅、三浦 一郎

102 五十嵐 寧

103 大石 智子、尾上文世、柴 佳世乃

104 山田 聡

105 大塚 昌典

◆ 計報 ◆ 松下 晴一氏 (74期)

松下氏は平成十六年七月より十九年七月まで、関東同窓会の会計幹事として会の運営に尽力されました。

十九年十二月八日、肝臓ガンのため逝去。葬儀・告別式は千葉県天王台のライフケアあびこ会館で行われ、児島副会長などが参列焼香されました。

○各期ごとに幹事役を決めて同窓会・同期会の活発化を図っています。

○幹事未定の期は至急選出して連絡してください。

関東同窓会会費

一年間 3000円

関東同窓会の会計年度は、4月1日より3月31日までのものです。静岡本部は10月1日から、異なりますのでご注意ください。

(注) 本年3月末にお支払いただいた会員の中で、収納手続の関係から、次年度掲載になる場合がありますのでご了承ください。

鈴 与 株 式 会 社

取締役社長 鈴木与平 (76期)

〒424-8703 静岡市清水区入船町11-1
TEL 054 (354) 3015 (秘書室)
京浜支店 〒140-0013 東京都品川区南大井6-25-3
ビリーヴ大森5F
TEL 03 (6404) 2100

日本レーベル印刷株式会社

代表取締役会長 岩井平一郎 (57期)

本 社 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田3丁目1番1号
TEL 054 (262) 1111(代)
東京支社 〒104-0031 中央区京橋1-1-6 越前屋ビル8F
TEL 03 (3272) 4651 (代)

株式会社 富士越化成

代表取締役会長 野澤正憲 (64期)

〒140-0004 東京都品川区南品川2-17-11
TEL 03 (5783) 3841
FAX 03 (5783) 3755

お茶の心を伝える 愛 国 製 茶

代表取締役 馬場 泰男 (64期)

本 社
東京都新宿区西早稲田3-7-9 TEL 03-3207-1611(代表)
高田馬場店
東京都新宿区高田馬場4-12-7 TEL 03-3363-6611(代表)

東京無線タクシーグループ 公和自動車交通株式会社

〒162-0813 東京都新宿区東五軒町3-3 ☎03-3269-3281

都心のオアシス・ゴルフ練習場 (株)公和ゴルフセンター

大江戸線・若松河田駅隣り ☎03-3202-6558

代表取締役 山中博司 (73期)

自動車・火災・傷害保険 (株)大高保険事務所

代表取締役 清水雅尚 (77期)

〒150-0011 東京都渋谷区東3-15-8
TEL 03 (3406) 9350
携帯 090-7800-3767

同窓会で人の輪を!!

野方重人法律事務所

弁護士 野方重人 (77期)

〒101-0045 千代田区神田鍛冶町3-7-3
藪下ビル6F
(TEL) 03 (3251) 2348
(FAX) 03 (3257) 0820

昼2時より夜11時まで診療 タカラ歯科診療所

代表 ^{フ ラ シ ナ ア キ オ} 藁科名雄 (87期)

東横線 中目黒下車 徒歩5分
TEL 0120-376-480
FAX 03-3710-8847
〒153-0051 目黒区上目黒2-18-13

相続税・法人税・所得税などのご相談どうぞ!

鳥巢修税理士事務所

税理士 鳥巢 修 (89期)

OSAMU TOSU

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-30-17
TEL 03(3396)3858 FAX 03(3396)3848
E-mail : tosu@mtj.biglobe.ne.jp

調剤薬局……関東・東海・関西中心に115店舗

株式会社 アイセイ薬局

健康と幸せを願って

代表取締役 岡村幸彦 (93期, 応援指導部)

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2-14-5
TEL 03 (5651) 7200
<http://www.aisei.co.jp>